

東北森林管理局

山形森林管理署 もがみ支署通信

第 2 回山形県森林管理推進協議会（最上地域）

3月4日（金）最上総合支庁にて、県農林水産部森林ノミクス推進課、最上総合支庁、各市町村の林務担当者、森林組合、素材生産事業体等が参集し開催されました。

会議では、森林経営管理制度（森林所有者の適切な森林整備の責務の明確化や、市町村への委託ができる制度。※林野庁森林経営管理制度で検索）、航空レーザー計測による森林資源のデジタル化、森林環境譲与税などについて、県の担当者及び最上地域の各市町村担当者から現在の取組み状況について、詳細な説明及び意見交換が行われました。

近年の豪雨災害、地球温暖化防止対策や、国土保全対策などには適切な森林整備が必要です。

上記の森林経営管理制度の取組については、最上町の取組事例が林野庁のHPで紹介されております。（※林野庁森林経営管理制度に係る取組事例集で検索）

当支署では今後も、県や関係機関と連携しながら支援して参ります。



推進協議会の様子

OJT の実施（職場内研修）

最上支署では、若手職員を対象とした OJT を定期的実施しております。

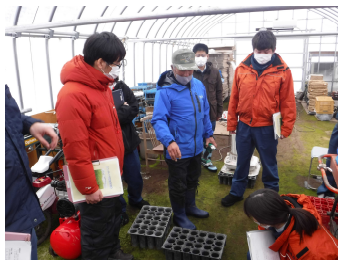
今回、真室川町「橋本種苗園」さんにお伺いし、コンテナ苗の基礎知識について学びました。

コンテナ苗（特殊な器具を用いて植付ける）は通常の普通苗（鍬を用いて植付ける）と違い、植付け作業のコスト低減や苗木生産の効率化が期待できることから、東北森林管理局では平成 20 年度から植栽を開始し、令和 2 年度には 1,751 ヘクタール、349 万本を植栽しています。（東北森林管理局全体に占めるコンテナ苗の割合は約 89%）

「橋本種苗園」さんは山形県内で最大規模の苗木の生産を実施しており、国や県の事業も含め、山林業者などを中心に主にスギの苗木を計画的、安定的に供給しています。

一般的に、コンテナ苗を栽培するうえで注意しなくてはならない点は、根腐れ防止、根の乾燥などです。コンテナ苗は、①ハウス栽培で場所を取らない、②植付が容易、③植栽時期を選ばない、④低コスト化が見込まれる、などのメリットがあります。

これからも、林業における低コスト化、新しい林業（自動化や、経営改善など）に向け、日々の業務と向き合ってまいります。（若手職員一同）



橋本社長の説明



コンテナ苗を育てる容器等



ミツマタ

山形森林管理署 最上支署

〒999-5312 山形県最上郡真室川町大字新町字下荒川200-11

TEL:0233-62-2122/FAX:0233-62-2706

